

## 環境目標 2 人と自然がふれあい歴史文化を愛する快適なまち

### 基本施策① 生態系および生物多様性の確保

#### ◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
自然の中の生き物や植物を大切にしている市民の割合(※)	%	H19	88.0	H25	46.9	H26	46.1	↓	H24	47.0	H29	50.0
水辺の教室の参加人数(累計)	人	H19	64	H25	16(362)	H26	18(380)	→	H24	239	H29	414

※ 平成21年度以降、指標の取り方を変更したため、大幅に実績値が下がっています。

#### 【評価(数値目標の達成状況等)】

「自然の中の生き物や植物を大切にしている市民の割合」については、昨年度と比較すると微減しています。

「水辺の教室の参加人数(累計)」については、大雨の影響による河川の増水により、開催回数が昨年度と同様となり、参加者は横ばいとなりました。

両指標について、最終年度の目標達成に向け、引き続き動植物の生息・生育環境を適切に保全、管理するとともに、外来種に関する情報提供や、自然に触れ合うことのできる機会・場づくりに努めます。

#### 【主な取組状況(平成26年度)】

主要施策	(1) 生物の生息・生育環境の保全・再生			
具体的な施策・事業(担当課)				
ア 自然環境に配慮した河川整備・管理(道路河川建設課) 多自然形護岸を積極的に活用し、自然環境に配慮した河川整備を進めました。				
	年度	H24	H25	H26
項目				
整備河川数(条)		3	2	1 (中川(名田島))
河川改修延長(m)		287	120	90

イ 生物に配慮した照明施設の管理

一の坂川周辺地区整備事業（都市整備課）  
河川沿いの低置灯設置にあたり、蛍を始め  
とした河川生息生物へ悪影響を与えないよう、  
河川側への明かりを軽減した。



主要施策

（２）貴重な野生動物の保護

具体的な施策・事業（担当課）

ア 法令による貴重な自然の保護

保存樹の保全（都市整備課）

保存樹の保全に要した経費に対する補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
補助件数	2	0	1

天然記念物指定の樹木の保護・保全（文化財保護課）

指定天然記念物について専門家の指導を受け、草刈や保存事業等を行いました。



《柏崎のクロガネモチ》



《西宗寺の大ヤマザクラ》

イ 貴重な野生生物の保護

ツキノワグマの保護（環境政策課）

県の「第3期特定鳥獣（ツキノワグマ）保護管理計画」に基づき、関係機関と連携しながら適切な対応を行いました。

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
ツキノワグマ目撃情報件数	27	37	36

山口ゲンジボタル保護事業（文化財保護課）

市内のゲンジボタル保護団体の活動経費に対する補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
補助件数	2	2	2



主要施策

(3) 野生動物の適正な保護と管理

具体的な施策・事業（担当課）

ア 野生動物の捕獲禁止（環境政策課）

野生動物の捕獲禁止について、市報等により啓発を行いました。  
また、メジロ等の飼養登録申請（13件）の際に適切な指導を行いました。

イ 市民への外来種に関する周知・啓発

外来種の流入防止のための啓発（環境政策課）

生態系に影響を及ぼすおそれのある外来生物に関するパンフレットを窓口に設置し、啓発に努めました。また、ホームページにおいて、目撃情報収集の呼びかけを行いました。



アライグマ



カミツキガメ



オオキンケイギク

スクミリング貝対策事業（農林政策課）

山口・小郡・徳地地域において、被害が生じている地域の農地所有者が中心の協議会による捕殺・溝上げ・耕起等の防除経費に対する補助を行いました。

項目	年度		
	H24	H25	H26
補助件数	5	6	6

## 基本施策② みどり豊かで多様な自然環境の保全

### ◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
山口市の自然環境に満足している市民の割合	%	H19	85.8	H25	90.8	H26	92.7	↑	H24	87.1	H29	88.1
エコファーマー認定者数	人	H19	465	H25	508	H26	501	↓	H24	700	H29	700
学校給食における地元農産物を使用する割合	%	H19	38.0	H25	60.5	H26	63.8	↑	H24	50.0	H29	59.0
人工林の間伐面積【再掲】	ha	H19	438.53	H25	596.67	H26	823.98	↑	H24	1,226.94	H29	1,226.94

### 【評価（数値目標の達成状況等）】

「山口市の自然環境に満足している市民の割合」については、昨年度と比較すると増加しており、引き続き高い水準を維持しています。今後も、市民や事業者に対し環境保全への取組みを支援、啓発することにより、成果の向上を目指します。

新規の「エコファーマー認定者数」は35名ですが、認定者数は昨年度と比較すると減少しています。農業者の高齢化等に伴い、今後も認定更新者の減少が見込まれることから、引き続き、環境保全型農業支援対策等の育成事業に努めます。

「学校給食における地元農産物を使用する割合」については、昨年度と比較すると増加し、最終目標を達成しました。今後も引き続き、生産者及び流通消費関係者との連携・強化を図りながら、地産地消の推進に向けた取組みに努めます。

### 【主な取組状況（平成26年度）】

主要施策	(1) 森林・農地の保全・活用			
具体的な施策・事業（担当課）				
ア 森林セラピー事業の推進（徳地農林振興事務所） 森の案内人による森林散策の案内や森林セラピー体験イベント、モニターツアー等を実施しました。また、市報やホームページ等により普及啓発を行いました。				
	年度	H24	H25	H26
項目				
案内者数		815	470	586
イベント参加者数		1,193	1,754	1,405





イ 農業生産基盤の整備（農林整備課）

ほ場整備事業（県営）として、川西第一地区・同第二地区、二島西第一地区・同第二地区の計4地区で施工中であり、順調に整備が進んでいます。

年度	項目	ほ場整備事業完了地区	面積（ha）
H24		川西第一・第二地区、二島西第一・第二地区（整備中）	286.0
H25		川西第一・第二地区、二島西第一・第二地区（整備中）	286.0
H26		川西第一・第二地区、二島西第一・第二地区（整備中）	285.0



ウ 耕作放棄地の解消（農林政策課）

遊休農地化防止事業として、秋穂二島において農機具（スライドモア）の買い換えを行うなどの取り組みを行いました。また、市内3地区において、山口型放牧による耕作放棄地の解消に取り組みました。

エ 農地の保全

中山間地域等直接支払事業（農林政策課）

対象協定に交付金を交付し、集落等による農地の保全活動等を促しました。

→交付集落数：78 / 交付金額：278,523,164円

多面的機能支払交付金事業（農林整備課）

40組織、5,127.61haにおいて、農地・農村環境の保全活動を行いました。

※本市の農振農用地の66.22%において、取り組みが行われています。

項目	年度	H24	H25	H26
協定活動組織数		43	40	40
活動対象農地（ha）		5,132.1	5,132.7	5,127.61

オ 市民農園の整備促進（農林政策課）

食と農のネットワーク事業として、市民農園開園者への事業支援とともに、利用希望者の募集・広報、都市部での農村情報の発信、農業体験等のイベントによる啓発を通じて、市民に対し農業、農村の理解促進を図りました。

項目	年度	H24	H25	H26
市民農園使用者数		100	95	96

主要施策 (2) 環境保全型農業の推進

具体的な施策・事業 (担当課)


ア 有機栽培や減農薬栽培の推進 (農林政策課)  
各関係機関と連携し、エコファーマーの育成等に努めました。

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
エコファーマー新規認定者数	2 5	1 3	3 5
エコファーマー認定者数	5 4 4	5 0 8	5 0 1
農家台帳戸数 (戸)	9, 5 7 0	9, 4 3 8	9, 3 3 3
エコファーマー認定者率 (%) (エコファーマー認定者数 / 農家台帳戸数)	5. 7	5. 4	5. 4

主要施策 (3) 地産地消の推進

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 地場製品のPR  
地場産業振興事業 (商工振興課)  
物産パンフレット「おみやげぼん。」の改訂・増刷を行うとともに、物産イベントを開催、参加しました。





---

イ 学校給食における地産地消の推進  
食と農のネットワーク推進事業 (農林政策課)  
はなっこりー、じゃがいも、にんじんのコンテナ納入を実施しました。

主要施策 (4) 豊かな流域づくりの推進

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 河口干潟環境等の保全・再生 (環境政策課)  
榎野川河口域・干潟自然再生協議会の取組みとして、住民参加による干潟再生活動等の共同運営、作業へ参加しました。





《榎野川河口域・干潟等に生息する生物》

主要施策	(5) グリーンツーリズムの推進
具体的な施策・事業（担当課）	
<p>ア 農家民宿の普及（定住支援室）  やまぐち元気！むらまち交流推進協議会による情報誌発行（発行部数10,000部）等のPR支援を行いました。  あとうスロー・ツーリズム推進協議会と連携し、阿東地域において農家民泊を利用した体験型教育旅行の受入れを行いました。</p> <hr/> <p>イ 地域の食材を使った観光資源化の促進  食と農のネットワーク推進事業（農林政策課、健康増進課）  「ぼく・わたしのお料理コンクール」受賞作品のレシピ集を作成し、道の駅等に配布しました。</p> <p>観光ブランド創出事業（観光課）  室町時代の大内御膳を「平成大内御膳」として再現し、湯田温泉において提供しました。</p> <div data-bbox="1029 745 1460 1019" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">《平成大内御膳》</p>	
主要施策	(6) 自然景観の計画的な保全
具体的な施策・事業（担当課）	
<p>ア 景観計画の策定（都市計画課）  景観法に基づく景観行政団体として、平成24年3月に策定した山口市景観形成基本方針を踏まえ、平成25年3月に景観法に基づく「山口市景観条例」を制定し「山口市景観計画」を策定しました。  一定規模の行為に対し届出を義務づけるとともに、本条例に基づく景観形成重点地区の指定を推進することなどで、良好な景観の保全、創出に努めていきます。</p>	
主要施策	(7) 良好な自然景観の保全・創造と活用
具体的な施策・事業（担当課）	
<p>ア 景観作物の栽培促進（農林政策課）  田園景観の保全・形成を目的に、中山間地域等直接支払事業において、遊休農地に菜の花やコスモス等の景観作物の栽培を促しました。</p>	

## 基本施策③ 自然とのふれあいの確保

### ◆進行管理指標


指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
森の案内人による案内人数	人	H19	914	H25	470	H26	586	↑	H24	2,000	H29	2,000
★都市農村交流の人口	千人	H19	1,759	H25	1,841	H26	1,880	↑	H24	2,150	H29	2,250
水辺の教室の参加人数(累計)【再掲】	人	H19	0	H25	16(362)	H26	18(380)	→	H24	239	H29	414

### 【評価（数値目標の達成状況等）】

「森の案内人による案内人数」については、最終年度の数値目標には到達していませんが、市内はもちろん、近隣市や県外からの来訪者に加え、リピーターも増加傾向にあることから、前年度と比較すると増加となっています。引き続き、新たな訪問者の開拓や啓発活動、利用しやすい環境づくりなどに努めていきます。

「都市農村交流の人口」についても、昨年度と比較すると微増となっています。近年、道の駅など類似施設の直売活動が活発化しており、大幅な利用者の増加が期待できない状況ですが、販売される農作物については、生産者の顔が見える安心・安全な面で一定の評価を得ています。今後も目標達成に向けて、地元農作物の販売や交流イベントなど地域に密着した取組みに努めます。

### 【主な取組状況（平成26年度）】

主要施策	(1) ふれあいの場づくり
具体的な施策・事業（担当課）	
ア 森林とふれあう場の整備（農林整備課） 森林公園（おとどい山森林公園、犬鳴森林公園、鴻ノ峰創造の森、四季の森、鋤尖山記念樹の森の5施設34ha）の維持管理を行いました。	



主要施策 (2) ふれあいの機会づくり

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 都市農村交流の推進 (農林政策課)

市民農園の開設希望者の募集や、道の駅や農産物直売施設等における関係団体との情報交換会 (年4回)、イベント (年1回) の開催を行いました。

イ 市民参加型調査による環境意識啓発 (環境政策課)

環境学習の一環として、水辺の教室を1回実施しました。

年度	実施日	実施場所	参加人数
H24	6月 9日	四十八瀬川	53
	9月 9日	榎野川	18
	9月 9日	仁保川	26
H25	9月 8日	榎野川	増水中止
	9月 8日	仁保川	16
H26	9月 7日	榎野川	増水中止
	9月 7日	仁保川	18



ウ 学校教育におけるふれあいの機会づくり (学校教育課)

各小中学校での学校教育において、地域の自然を活用した特色ある環境活動を通じて、自然とのふれあいを推進しています。環境学習内容 (資料編P81~91参照) としては、自然体験学習 (米作り等) や地域探検 (自然、生物観察) 等を実施しました。



《田植え体験 (上郷小)》



《地域探検 (小鯖小)》

主要施策 (3) ふれあいのマナーの向上

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 自然と共生するためのマナーの啓発 (環境衛生課)

ポイ捨て禁止等の看板配布、市報による啓発等を行いました。

項目	年度	H24	H25	H26
	ポイ捨て禁止看板配布数 (枚)		39	39
不法投棄防止看板配布数 (枚)		55	43	79
市報による啓発回数		2	2	2

## 基本施策④ 歴史的文化的環境の保全

### ◆ 進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
山口市の歴史や文化に誇りや愛着を持っている市民の割合	%	H19	75.5	H25	72.9	H26	72.4	↓	H24	現状以上	H29	77.0
文化財等を活用したイベントの参加人数	人	H19	874	H25	1,276	H26	1,718	↑	H24	950	H29	1,100

### 【評価（数値目標の達成状況等）】

「山口市の歴史や文化に誇りや愛着を持っている市民の割合」については、昨年度と比較すると微減しています。山口市まちづくりアンケート結果において、20歳代から30歳代までの指標値が他の世代に比べて低いことから、今後は、YCAMなどを活用しながら、こうした若い世代が本市の歴史等に愛着を持てるよう積極的に文化・芸術に触れる機会の創出に努めます。

「文化財等を活用したイベントの参加人数」の増加は、市民の文化財や歴史に対する関心の高まりであると考えます。最終年度の数値目標を達成していますが、今後も、更なる事業の啓発活動に取り組んでいきます。

### 【主な取組状況（平成26年度）】

主要施策	(1) 文化財の保全			
具体的な施策・事業（担当課）				
ア 文化財の保存修理（文化財保護課） 国・県指定文化財の保存修理に対する補助を行うとともに、未指定文化財の調査や開発に伴う試掘・立会調査を行いました。また、大内氏遺跡の発掘調査を行い、報告書を作成しました。				
	年度	H24	H25	H26
項目				
保存修理に対する補助件数		6	5	6
未指定文化財調査（回）		5	4	4



《国宝 瑠璃光寺五重塔》

主要施策 (2) 郷土の歴史・文化の継承と活用

具体的な施策・事業 (担当課)

ア 歴史と文化を活かしたイベントの支援 (文化政策課)

大内文化特定地域活性化推進事業として、当該地域の歴史資源等を活用した各種イベントの支援を行いました。

年度	項目	補助金交付事業
H24		アートふる山口、山口県総合芸術文化祭 山口県川柳大会
H25		アートふる山口、大殿さんぽイベント2013
H26		アートふる山口、大殿さんぽイベント2014

イ 郷土にゆかりのある文学者の理解促進 (文化政策課)

中原中也記念館、嘉村磯多生家「帰郷庵」等の運営を通じて、文化の向上や地域振興に取り組みました。

《中原中也記念館》

項目	年度	H24	H25	H26
入場者数 (人)		17,097	14,582	20,304
企画展 (回)		3	2	5
講座講演 (回)		14	14	13
関連資料の収集 (点)		309	390	332

《嘉村磯多生家「帰郷庵」》

項目	年度	H24	H25	H26
見学者数 (人)		3,133	2,273	1,317
時間利用者 (人)		466	455	469
宿泊利用者 (人)		482	629	507



《中原中也記念館》



《帰郷庵》

ウ 郷土の伝統産業や祭りの振興 (観光課)

観光夏まつり開催事業等として、山口祇園祭や山口七夕ちょうちんまつり、湯田温泉白狐祭り等、地域に根ざした祭りへの支援を行いました。

項目	年度	H24	H25	H26
祭りへの助成件数		13	13	13
祭りの来場者数 (千人)		541	427	430



## 基本施策⑤ 山口らしい都市空間の保全・創出

### ◆進行管理指標

指標	単位	現 状 (計画策定時)		平成25年度 実績値		平成26年度 実績値		評価	目 標			
		年度	数値	年度	数値	年度	数値		中間年度		最終年度	
									年度	数値	年度	数値
公園が利用しやすいと思う市民の割合	%	H19	69.8	H25	74.0	H26	76.1	↑	H24	70.0	H29	75.0
景観やまちなみに満足している市民の割合	%	H19	71.7	H25	80.7	H26	81.9	↑	H24	現状以上	H29	72.0
緑のカーテンの実施割合（家庭）	%	H21	—	H25	21.2	H26	18.6	↓	H24	5.0	H29	10.0
不法投棄の発見報告件数	件	H19	48	H25	34	H26	12	↑	H24	43	H29	38

### 【評価（数値目標の達成状況等）】

「公園が利用しやすいと思う市民の割合」及び「景観やまちなみに満足している市民の割合」については、昨年度と比較すると増加しており、引き続き最終年度の数値目標を上回る、高い水準を維持しています。今後は、平成24年度に策定しました景観計画や公園の長寿命化計画に基づく取組みを行い、成果の向上を図ります。

「緑のカーテンの実施割合（家庭）」については、最終年度の数値目標を大きく上回る、高い水準を維持していることから、引き続き温暖化とめるっちゃネットワークやまぐちとの連携、協働のもと、イベント等による啓発に努めます。

「不法投棄の発見報告件数」については、公害苦情相談に係る件数を挙げています。今後も引き続き、環境美化協力員等と連携しながら啓発や監視パトロール等に努めます。

### 【主な取組状況（平成26年度）】

主要施策	(1) 適正かつ合理的な土地利用の推進
具体的な施策・事業（担当課）	
<p>ア 環境保全に配慮した計画的な土地利用の推進（農林政策課）          優良農地確保促進事業として、生産の合理化が可能な、集団的に存在する農地の維持・確保のため、適正な事務処理に努めました。          ※農用地区域面積：7,836ha（平成27年3月末日現在）</p>	



主要施策

(2) 景観などに配慮したまちづくりの推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア 「景観法」及び「山口市景観条例」の活用

景観形成事業（都市計画課）

これまで山口市都市景観条例に基づき、都市景観形成地区に指定した「一の坂川周辺地区」の建築等や、全市域において行われる一定以上の大規模建築物の建築に対する景観上の助言・指導を行っていましたが、「山口市景観計画」の策定及び「山口市景観条例」の施行に伴い、平成25年7月から、景観形成重点地区に指定した「一の坂川周辺地区（約12ha）」においては全ての行為、その他市内においては一定の規模の行為を対象とした届出制度（国の機関又は地方公共団体が行う行為は通知）を開始しました。

※上記届出制度は平成25年10月以降に着手する行為を対象としています。

《届出制度開始以前（平成25年9月まで）》

項目	年度	H24	H25	H26
大規模建築の建築に対する助言・指導件数		2	0	—

《届出制度開始後（平成25年10月から）》

項目	年度	H24	H25	H26
建築物の建築等		—	10	18
工作物の建設等		—	6	15
開発行為、土地の開墾その他土地の形質の変更		—	31	70

また、景観の意識啓発活動として「山口市景観写真コンテスト」を開催し、景観意識の普及啓発に努めました。64点の応募があり、市民投票及び山口市景観審議会での審査を経て、大賞1点、入賞6点を選出しました。



《大賞：塔を彩る》

匠のまち創造支援事業（商工振興課）

大内文化特定地域内に新規出店する事業者に対し、出店に係る経費を補助しました（店舗外観は、歴史的町屋景観を活かす）。

項目	年度	H24	H25	H26
補助件数		3	1	1

イ 中心市街地への都市機能の集積（中心市街地活性化推進室、商工振興課）

中心市街地の活性化を目的として、中心商店街の空き店舗への出店促進や、商店街で実施するイベント経費に対する補助等を行いました。

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
空店舗への入店件数	1 9	1 0	7
商店街通行量（人）	5 4, 4 1 1	4 2, 4 1 0	4 8, 7 3 3

ウ 周辺環境との調和および個性の創出（ＴＰ計画課）

新山口駅ターミナルパーク整備事業として、北駅前広場整備における基本設計の中でランドスケープデザイン（植栽、舗装等の計画）や光のデザインについて、景観に配慮しました。

主要施策 （３）市街地の緑化の推進

具体的な施策・事業（担当課）

ア 市民の生垣設置促進（開発指導課）

山口市みどりの生活通り推進事業として、市民への生垣の設置費補助を行いました。

項目 \ 年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6
補助件数	6	4	1

イ イベントを通じた緑化意識の啓発（商工振興課）

項目 \ 年度	実施内容
H 2 4	平成24年度山口市都市緑化祭を開催し、緑化の提案、造園協会の活動紹介、花と種と啓発パンフレットの配布を実施しました。 11月3日に中心商店街開催の「HOLA! やまぐちスペインフィエスタ」会場において、花壇コンクールの表彰式、花壇パネルの展示、来場者への球根配布を実施しました。
H 2 5	11月4日に中心商店街開催の「HOLA! やまぐちスペインフィエスタ」会場において、花壇コンクールの表彰式、花壇パネルの展示、来場者への球根配布を実施しました。
H 2 6	11月1日に中心商店街開催の「HOLA! やまぐちスペインフィエスタ」会場において、花壇コンクールの表彰式、花壇パネルの展示、来場者への球根配布を実施しました。



主要施策	(4) 不法投棄、ポイ捨て対策の推進
------	--------------------

具体的な施策・事業（担当課）													
<p>ア 連携による不法投棄・ポイ捨て防止対策（環境衛生課）  環境美化協力員及び各地域の環境衛生団体との連携によるポイ捨てや不法投棄防止の啓発、監視パトロール等を継続して行いました。</p>													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不法投棄相談・報告件数</td> <td>124</td> <td>133</td> <td>157</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	項目				不法投棄相談・報告件数	124	133	157
年度	H24	H25	H26										
項目													
不法投棄相談・報告件数	124	133	157										

主要施策	(5) 環境美化活動の推進
------	---------------

具体的な施策・事業（担当課）	
<p>ア まちの美化活動への市民参加の促進（環境衛生課）</p>	
地域名	活動内容
山口	「春季清掃月間」の設定、「ふしの川水系クリーンキャンペーン」の実施、関係団体が行う清掃活動への支援
小郡	「地区清掃」の設定、「ふしの川水系クリーンキャンペーン」の実施、関係団体が行う清掃活動への支援
秋穂	「春季清掃月間」と「秋季清掃月間」の実施、関係団体が行う清掃活動への支援
阿知須	各自治会による清掃活動の定期実施
徳地	例年7月に「地域一斉清掃」の実施
阿東	各自治会による清掃活動の定期実施



《ふしの川水系クリーンキャンペーン》